学校番号	413

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新編古典探究　（東京書籍）						
副教材等	基礎 古文　大学入学共通テスト対策新装二版　１＋plus（尚文出版） みるみる覚える古典単語 300＋敬語 30　三訂版（いいずな書店） 読解をたいせつにする体系古典文法九訂版・四訂版読解をたいせつにする体系古典文法準拠ノート（数研出版） 漢文の習得 句形トレーニング（浜島書店） 改訂版プレミアムカラー国語便覧・準拠ノート（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、様々な古典の文章を読むことを通して、考える力・表現する力をつけることができます。
・古典への理解を深めるために、文語文法や古文単語を繰り返し学習し自分のものとしましょう。
・本文を丁寧に読むことやわからない単語を辞書で調べることを自主的に行いましょう。
・家庭学習における課題については、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。必ず提出期限を守りましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについて理解し、知識を身につけている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉で伝え合う力を進んで高めようとするとともに、古典に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	説話(一) [教材]古文編Ⅰ部 「大江山の歌」(十訓抄)	a ・語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや文語のきまりを理解する。 b[読] ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物
	物語(一) [教材]古文編 「渚の院」(伊勢物語)	a: ・語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b[読]: ・歌物語という文章の特徴を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、解釈する。 c: ・積極的に歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し，今までの学習を生かして人物の心情を理解しようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物
	故事と小話 [教材]漢文編 「蛇足」	a:訓読のきまりを理解する。現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 b[読][書]:作品の歴史的・文化的背景を理解して、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 c:故事成語の由来となった話を積極的に読む。便覧等も活用して、ものの見方・考え方を広げ、自分の表現に生かそうとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物
1	物語(一) [教材]古文編 「姨捨」(大和物語)	a: ・語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b[読]: ・『伊勢物語』と比較し、歌物語としての『大和物語』の特質を捉え、ものの見方、感じ方、考え方に対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c: ・積極的に歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し、今までの学習を生かして人物の心情を理解し、姨捨伝説についての自らの考えを深めようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物
	物語(一) [教材]古文編Ⅰ部 「物語」 (更科日記)	a ・語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b[読] ・女性による日記文学を読んで、自己の内面を書き綴った心情描写に触れる。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c ・自伝的な日記文学を読み、執筆意図や 作者の心情などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物

2	和歌・俳諧 ［教材］古文編Ⅰ部 小倉百人一首の世界『小倉百人一首』より	a ・語彙を豊かにする。 ・和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 b[読] ・和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 c ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物
2	随筆（二） ［教材］古文編Ⅰ部「馬のはなむけ」（土佐日記）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 b[読] ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の文章を読み、その内容や形式などに関して、発表したり議論したりする。 c ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物
2	日記（一） ［教材］古文編Ⅰ部「門出」（更科日記）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 b[読] ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c ・自伝的な日記文学を読み、執筆意図や 作者の心情などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物
2	物語（二） ［教材］古文編Ⅱ部「道長、伊周の競射」（大鏡）	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b[読]： ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉え、歴史に残された人々の姿に触れる。 c：今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物

	文 ［教材］漢文編 「桃花源記録」（陶潜）	a ・語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 b[読] ・小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 c ・「桃花源記」の作者陶潜が，この作品を書いた思いについて・積極的に読み理解しようとしている。 ・話にこめられた意味について、進んで説明しようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物
3	随筆（二） ［教材］古文編Ⅱ部 「雪のいと高う降りたるを」（枕草子）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 b[読] ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の文章を読み、その内容や形式などに関して、発表したり議論したりする。 c ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物
	物語（三） ［教材］古文編Ⅱ部 「光る君誕生」 「若紫」（源氏物語）	a： ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b[読]： ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c： ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	課題の提出 定期考査 小テスト	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　０　　）時間

・読むこと　…　（　　１０５　　）時間